

「地域と共にこれからも」

公益社団法人 目黒区シルバー人材センター

# シルバーめぐろ

令和2年7月1日

# 278号

令和2年6月1日現在

男性 736名  
女性 509名  
合計1,245名

発行・編集

本部：目黒区目黒1-25-26(田道ふれあい館)  
TEL▶03-3793-0181 ▶FAX03-3793-0588  
分室：目黒区目黒本町2-1-20  
TEL▶03-5721-2593 FAX▶03-5721-2594  
HPアドレス▶https://www.meguro-sc.or.jp/

## 第10回定時社員総会開催

〈報告事項〉 平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業報告  
〈決議事項〉 第1号議案 平成31年4月1日から令和2年3月31日までの計算書類の承認の件

令和2年6月2日(火)午後1時30分から、第10回定時社員総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、予定していた目黒区民センターホールが使用できなくなり、シルバー人材センター本部会議室での開催となりました。感染拡大防止と会員の皆様の健康と安全を優先し、例年実施している来賓のあいさつ、地域班長の紹介、表彰式はやむを得ず省略し、規模を大幅に縮小しての開催となりました。出席者は、会員、理事、監事を合わせて18名でした。会員の皆様のご理解とご協力により、出席者と委任状を合わせ、定款に規定する決議に必要な定足数を満たすことができ、総会が成立しました。木塚会長の挨拶の後、議事に入り、決議事項は原案通り全て可決されました。



▲木塚会長の挨拶

### ■会長挨拶 木塚 真人

令和2年度、公益社団法人目黒区シルバー人材センターの社員総会に当たりましてご挨拶申し上げます。

当センターは、公益社団法人となりまして今年で10年目を迎えます。本来でしたら、会員の皆さまや、日頃ご支援をいただいておりますセンターの名誉会長である青木目黒区長をはじめ区議会や行政の皆さまと一堂に会し、10周年を祝福するとともに、センターに託された、公益性を伴った就業活動や、地域に根差した社会貢献活動、また今後一層進むことが予測される高齢化社会におけるセンターの役割について親しくお話を交わすべきところでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、多くの皆さまには委任状でご参加をいただく結果となり、このような紙面での挨拶になりましたこと、大変残念に思っております。私どもシルバー会員の長い人生の中でも、はじめて体験する恐ろしい疫病との遭遇となりました。このような状況の中、私どもは日常の活動をどのように維持していけばよいのか慎重に判断しなくてはなりません。

センターにおきまして、3月11日にリスク管理規定の定めに従い、「新型コロナウイルス感染症に係るリスク対策会議」を発足し、就業の制限や社会貢献活動の規制を協議し、更にお客様と調整の上、多くの就業を休業し、また大幅に縮小して、この見えない疫病防止への対策をとらせていただいております。多くの会員の皆さまはこの間、ご自宅での自粛生活に耐え、困難

な日々をお過ごしいただいたこととご推察申し上げます。しかし、「上がらない雨はない」、「明けぬ夜はない」、の例えの通り、この困難な疫病も必ずや収束される日が訪れるでしょう。その日に向かって、今できることを、ひとつずつ丁寧に実行することが何より大切と考えます。

5月26日の緊急事態宣言の解除をうけ、6月から少しずつ就業や、社会活動が再開されつつありますが、これからも政府の専門家会議が示している「新しい生活様式」に則って、自分自身の、またご家族の、そして周りの人たちの、命を守るための行動をとることが求められています。私どもセンターの活動指針にもある通り、何よりも安全、安心が優先される慎重な行動が求められています。

また、今年を初年度とする「第5次中期計画」を全会員に配布し、今後5年間のセンターの進むべき柱としての、エイジレス社会における会員の誰もが、いつまでも、活動できるような将来像や、会員の皆さまのセンター活動への自主的、且つ自発的な参加とその役割をお示し致しました。ご熟読いただきますようお願い致します。これまで通りの事業を継続し、維持をするには厳しい環境ですが、この中期計画の初年度の確かな一歩を踏み出すべく、委員会も順次再開を予定しております。

いつか来る、明るい日常を信じてこの難局を皆さまとともに乗り切りたいと考えます。会員各位の一層のご協力とご支援をお願い申し上げますと共に、会員の皆さまの益々のご健勝とご活躍を祈念し挨拶と致します。

## 令和2年度 会員表彰(表彰理由)(敬称略、順不同)

【総務委員会選出】	【事業運営委員会選出】	【地域貢献推進委員会選出】	【危機管理安全委員会選出】	
 <p><b>中島 正行</b> (駒場地域班)</p> <p>地域班長として班活動に長年貢献された</p>	 <p><b>清水 澄雄</b> (駒場地域班)</p> <p>駒場公園(和館)指定管理業務に大いに尽力された</p>	 <p><b>四ノ宮 強</b> (月光原地域班)</p> <p>公園清掃業務の作業内容に精通し会員の取りまとめに貢献された</p>	<p><b>中根地域班</b></p> <p>地域班長 中込 稔 他一同</p> <p>高参加率の道路、公園清掃活動で地域貢献された</p> 	<p><b>植木班</b></p> <p>リーダー 牛田 松則 他一同</p> <p>会員一人ひとりの意識を高め、事故撲滅に積極的に取り組まれた</p> 
 <p><b>佐野 敏明</b> (上目黒地域班)</p> <p>地域班長として班活動に長年貢献された</p>	 <p><b>新井 伝治</b> (向原地域班)</p> <p>長年、駐輪場管理業務に就業され、同僚の指導に努められた</p>	 <p><b>藤代 千鶴子</b> (東根地域班)</p> <p>西部地区家事育児班のリーダーとして活動された</p>	<p><b>盆踊り有志</b></p> <p>有志代表 眞部 和子 他一同</p> <p>福祉施設訪問ボランティア活動に長年貢献された</p> 	<p>安全支援員 <b>井上 行正</b> (鷹番地域班)</p> <p>予測される事故目標を掲げるなど事故防止に努められた</p> 
<p><b>東根地域班</b></p> <p>地域班長 佐宗 俊夫 他一同</p> <p>班会員が主体となって会員増員に積極的に取り組まれた</p> 	 <p><b>河野 麗子</b> (不動地域班)</p> <p>東部地区家事育児班の元リーダーとして活動された</p>	 <p><b>大橋 幸子</b> (烏森地域班)</p> <p>家事育児班の活動に長年貢献された</p>	 <p>安全支援員 <b>増田 弘匡</b> (パソングループ)</p> <p>具体的な目標を掲げ危機意識の浸透に努められた</p> 	

## 第5次中期計画スタート(令和2年度～令和6年度)

センターでは、社会経済状況を的確に捉え、中長期的な視点を持って事業運営を計画的に進めるため、令和2年度を初年度とする第5次中期計画を策定し、今後5年間に取り組むべき課題と施策の基本的な方向を明らかにしました。この計画では、「会員一人ひとりが、仕事で輝き、地域社会との繋がりも楽しむ豊かなシルバーライフ」の実現に向けて六つの基本目標①活動に必要な会員規模の確保、②会員による活気のある組織運営、③会員ニーズと就業分野のバランスの確保、④安心して働ける環境づくり、⑤地域社会の一員にふさわしい活動、⑥会員が必要とするサービスの提供、を掲げ具体的な施策を計画的に推進していくこととしています。中期計画は、総会資料と共に配布しましたのでご参照下さい。

### 令和2年度 委員会の取り組み

#### 【総務委員会】

このたび策定致しました第5次中期計画では、前計画に続き「会員増員」を大きな課題としています。全国シルバー人材センター事業協会の「第2次会員100万人達成計画」では、計画期間終期の令和6年度末における当センターの目標会員数を1,825人としており、この目標数に向けた更なる取り組みが必要な状況にあります。総務委員会では、会員の口コミの活用や地域班独自の取り組みへの支援、区内各所での出張説明会や即日入会制度の導入など、「きめ細かな」入会促進策の検討、実施を推進し仲間を増やし、会員の皆様が「仕事で輝き、地域社会との繋がりも楽しむ豊かなシルバーライフ」を実感できる組織づくりを目指していきます。

#### 【就業適正化委員会】

いくつかの重点項目として、まず「公正性」「公平性」を旨とした就業予定者の募集とその選考を実施し、幅広く就業機会の場をみなさまにご提供できるよう公募・面接の改善を推進していきます。また、各就業グループリーダーご協力のもと、就業現場等で発生する種々のトラブルを未然に防ぎ、解決に導くとした当委員会の役割を積極的に実施していきます。なお、長期に渡り検討事項の1つであります「働き方再構築」では、いくつかの就業グループリーダーへ本年5月にアンケート調査を実施。ご回答いただいたアンケート結果をもとに分析を重ね、検討・審議を行っていきます。

#### 【危機管理安全委員会】

「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、「事故ゼロ」を目指し、会員一人ひとりの危機管理意識の普及を更に推進すると共に、自然災害等に備え安全で安心して働ける職場環境づくりに取り組みます。

- 1) 自転車事故、つまずき・転倒及び就業中のケガなど事前に事故を防ぐ(危険予知)習慣を身に付けるための対策を、安全支援員の皆様と共にきめ細かく進めていきます。
- 2) 夏場を中心とした集中豪雨、大型台風及び不測の自然災害等に備え、各職場を単位とした本部、目黒区等との連絡体制の更なる整備を図ります。
- 3) 新たな健康づくりのための施策を検討します。

#### 【事業運営委員会】

高齢者の希望する、地域に密着した軽易な就業を提供する、シルバー人材センターの基本的な事業の役割を積極的に推進し、会員増員を支える就業機会の拡充と体制整備を重点目標に活動するものとし、仕組みやルール作り、就業支援に注力します。

- 1) 多様な就業ニーズに対応する就業機会の拡充  
会員満足の基本は仕事に対する満足と捉え、就業率の向上を重要課題として取り組みます。
- 2) 就業活動支援体制の整備  
各就業グループにおける課題改善に向けた相談体制の整備、人材が不足する特定就業分野向け会員の育成など、就業グループの活動支援の充実に取り組みます。

#### 【地域貢献推進委員会】

今年度から令和6年度までの5年間をカバーする第5次中期計画においても、今までと同様、会員の皆様による毎月実施の道路清掃(12月は公園清掃)および定期的福祉施設訪問などがセンター主催の地域貢献活動の柱になります。これら活動の継続的推進のために会員の皆様の参加しやすい環境づくりに一層取り組みます。又、もう一つの柱として地域の活性化に多大の寄与をして頂いている、地域班・就業グループによる地域の住区住民会議や町会など他団体が主催する各種イベントへの協賛による自主的参加活動についても、更なる拡充のために支援を行っていきます。



## 令和2年度 地域班長紹介

新任班長に 1 今年度の抱負 2 地域班の皆さんに協力・お願いしたいこと等を伺いました。(敬称略)



#### 駒場班 武田 光司

- 1) 中島班長が取り組まれていた地域班活動を継承し、70歳とシルバー会員の中では若手の私はさらにネットワークを活かせればと思っています。
- 2) 引き続き、メグちゃんデイ、その他の地域班活動にご参加、ご協力をお願いします。



#### 烏森班 渡辺 稔

- 1) 烏森班の全員が横のつながりを強く持てるような工夫を皆様と話し合える機会を早く持ちたい。シルバーに登録した方の目的は会員様一人一人違うと思いますが、一期一会を基本に楽しい班に出来るよう、頑張りたいと思います。
- 2) 全員が顔を合わす機会が少ないと思いますので、メグちゃんデイは良い機会です。メグちゃんデイ参加の協力を会員の皆様にはお願いしたい。会員の皆様の協力をどの様にしたら得られるか、これからの私としての課題です。



#### 田道班 長江 高明

- 1) 地域班長として、会員の皆さんが仕事やボランティア活動に「安心して気持ちよく参加できるように努めます。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、地域班内のコミュニケーションを如何にして確保するかが課題となります。センターと会員間のパイプ役として、情報の目詰まりが起らないよう心掛けていきたいと思います。
- 2) メグちゃんデイは地域班会員がお互いに顔を見ながら情報交換できる数少ない機会でもあります。各人の体力、体調、仕事の都合等、無理をしない範囲で楽しく参加の上、貴重なご意見を是非お聞かせください。



#### 上目黒班 草尾 松寿

- 1) 班長は変わりましたが、地域班役員の皆さんと力を合わせて、引き続き本年もメグちゃんデイ参加率第1位を目指して頑張りたいと思います。
- 2) 何でも気軽に話し合える仲の良い上目黒班にしていきたいと思っております。お互いを知ることが必要です。メグちゃんデイに参加、歩こう会、グルメの会、カラオケの会へ積極的に参加し、楽しみながら仕事をすることも良いと思います。



#### 向原班 伊藤 出

- 1) 昨年(令和元年)6月、班長を引き継ぎました。約10ヶ月の経験を積んで今年度を迎えました。新型コロナウイルスの影響で活動自粛を余儀なくされ残念な状況です。地域班活動の基本は、毎月第一日曜日のメグちゃんデイとっておりますので、参加率のアップを目標にしたいです。
- 2) 副班長の方々のご支援を頂いて班員の皆様方に、メグちゃんデイ、盆踊り大会等の各種地域貢献活動や班のイベントに積極的に参加して頂きたいと思っております。



#### 自由が丘班 駒田 正立

- 1) 明るく楽しく活動が続けられるよう、地域班としての役割を「交流を深め、情報を役立てる場」として活用し、出会いを大切に、新入会員も増えるよう取り組みたいと考えております。
- 2) 10数名の組ごとに、副班長を核としたワンチームの意識を毎月のメグちゃんデイや班総会等の集まりで再認識いただけるよう、ご協力をお願い致します。



菅州・東山班  
浅田 昭司



中目黒班  
遠藤 欽也



下目黒班  
川本 輝一



不動班  
山内 博春



油面西班  
磯 通夫



油面東班  
宇田川 善臣



五本木班  
江野沢 利雄



鷹番班  
高林 宏



月光原班  
土 昌弘



碑・大岡山東班  
下地 恵



原町班  
及川 キエ子



中根班  
中込 稔



大岡山西班  
油谷 敬一



八雲班  
稲垣 邦夫



東根班  
佐宗 俊夫

## 新型コロナウイルス感染症に対するセンターの対応経緯

2019年12月、中国で発生した新型コロナウイルス感染症。中国全土から世界各国に広がり世界保健機構がパンデミックを宣言するまでに至り、日本でも4月7日に政府から緊急事態宣言が発令されました。センターでは、1月から新型コロナウイルス感染症対策を開始。3月11日に「リスク対策会議」を設置するなど継続的に対応に当たっています。今後も「手洗いの励行」などの感染防止対策を会員の皆様と一緒に講じながら事業を継続していきます。

令和2年1月～2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手指消毒液を配布(19就業現場)</li> <li>【3月中の対応決定】</li> <li>●センター主催イベントの中止・延期</li> <li>●地域班・就業グループ会議の自粛の検討(資料対応できる場合は中止)。懇親会は中止・延期</li> <li>●手洗い・咳エチケットの励行</li> <li>●独自事業(教室事業)の中止</li> <li>●センター職員の時差通勤実施</li> </ul>
第1回リスク対策会議(3月11日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リスク対策会議(構成員:会長・副会長・各委員長・事務局長他)を設置しセンターにおける新型コロナウイルス感染症を一元的かつ継続的に行うことを決定</li> <li>●会員向け周知資料/「新型コロナウイルス感染症に関する会員の就業について」の周知を決定</li> </ul>
第2回リスク対策会議(3月25日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【4月中の対応決定】</li> <li>●不特定多数の参加するセンター主催のイベント等は中止・延期</li> <li>●参加者が特定されるセンター主催のイベント等地域班、就業グループ会議についても優先性を精査し、不要不急なものは中止・延期</li> </ul>
3月27日～4月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●4月土曜日:奈古味臨時休業</li> <li>●4月:リフォーム室休業</li> <li>●4月:入会説明会及び入会研修・手続き中止</li> </ul>
第3回リスク対策会議(4月7日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【5月6日までの対応決定】</li> <li>●4月7日の緊急事態宣言の発令に伴い対応を決定</li> <li>●緊急事態宣言中の就業中止/①新規受注停止 ②継続業務等は発注者と協議の上、就業中止又は規模の縮小</li> <li>●独自事業やセンター主催のイベント・地域班や就業グループ等の会合の中止</li> <li>●入会説明会、入会研修・手続きの中止</li> <li>●事務局職員の在宅勤務の実施(半数ずつの交代勤務)</li> </ul>
第4回リスク対策会議(4月23日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【5月末まで継続を決定】</li> <li>●現時点で緊急事態宣言の取り扱い等について、国や東京都から確たる見通しが表示されておらず、外出自粛要請が緩和される状況ではないことから、5月6日までの緊急事態宣言中の対応を5月末まで継続を決定</li> </ul>
第5回リスク対策会議(5月13日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【6月以降の対応決定】</li> <li>●新規受注については、対応可能な職種から再開</li> <li>●就業中止や規模を縮小している業務については、通常再開に向け段階的に就業を拡大していくことなどを含め必要な対応を行う</li> <li>●独自事業については、感染予防等、再開に向けた条件整備を行った上で事業ごとに再開時期を判断する</li> <li>●地域班・就業グループの活動、入会説明会及び入会研修については、感染予防に配慮しながら再開する</li> <li>●道路清掃活動、地域貢献活動については、当面の間自粛する</li> </ul>